

2022 長野大会

第三分科会 記念対談『魅力的な地域をつくりだす事業とマネジメント』 実施要項

1. 趣旨

本大会のテーマである「再生 ～すくませ建地区士～」に基づき、地域地区の再生を各個人が考えたときに参考となる事例を紹介するとともに、新しいアイデア構築のきっかけづくりを図ります。

東京都青梅エリアなどでタウンマネージャーとして活躍されている國廣氏と、埼玉県寄居町で3年間タウンマネージャーを務められ、離島観光のコンサルタントとしての経験もある上田氏を招き、行政や地域を相手にどのような“ねらい”、どのような“手法”を経て、青梅エリアや寄居町を中心とするエリアがどのような“地域”に変化していったのかを、幅広い知識と実績を交えてお話いただきます。

建築士とは異なる立場からの“まちづくり”に触れることで、行政、住民、参画者、そして我々建築士がどのように関わっていくべきかを、國廣氏、上田氏とともに改めて考えましょう。

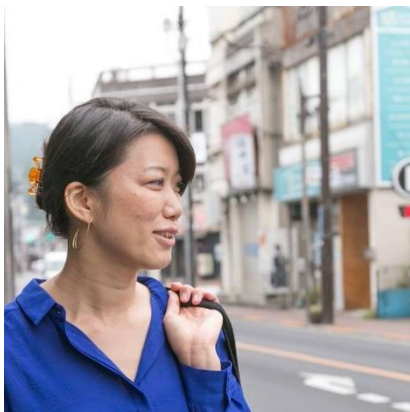
2. タイムスケジュール

日時：令和4年6月18日（土）13：30～15：00

時間	内容	備考
13:15	講演用ZOOM開始	主催者より指定のURLアカウントに接続 ※アカウント確認
13:25	開始5分前アナウンス	ZOOM接続上の注意点説明（※スライド表示）
13:30	司会挨拶・趣旨説明・講師紹介	司会：柴田（栃木）
13:35	対談テーマ 「魅力的な地域をつくりだす 事業とマネジメント」 ゲスト 國廣順子氏 ゲスト 上田嘉通氏 MC 櫻井副会長 國廣氏（30分） 上田氏（30分） 質疑	質問受付開始 質問回収担当：中村（東京） 「建築や土木、デザインについて知識のある人間が中間支援を行い、また直接事業に関わることで様々な相乗効果が得られる」 國廣氏講談キーワード ・総合的な地域マネジメント ・まち会社の設立・まちなか開業増加 ・文化財の活用保全・映画館の開業 上田氏講談キーワード ・ママさんの在宅就業支援事業 ・寄居町100人会議 ・空地活用のGOOD PARK ・寄居蜜柑ビールの開発
14:59	閉会	

3. 対談テーマ『魅力的な地域をつくりだす事業とマネジメント』

東京都青梅市の中心商店街では、それまで増加していた空き店舗を次々に若者たちが借り上げ、夢を実現するためのスペースとして生まれ変わっています。そこには、物件所有者と交渉して借りやすい条件を整えるだけでなく、借り手の負担を減らすための家賃方式設定や、物件活用イメージを提案するギャラリーの構築、そして各物件の情報を持ち帰ることのできるカードの作成など様々な工夫が凝らされています。また、埼玉県寄居町では、「無名の町」から町の魅力をブランディングして地域活性を目指す取り組みが行われています。町の事業者と共に、町にある資源や技術を生かした事業を立ち上げ、見学や体験イベントを通して積極的に発信されてきました。この実現のために、行政や住民、地域とどのように携わり、何を目指してきたのでしょうか。現在は、若者の活動が街ににじみ出し、創造性と情緒性溢れる街となった事例から、私たちが地域で何をすべきか、何をめざすべきかを、共に考えましょう。



■講師プロフィール 國廣 純子氏

広島県生まれ。慶應大卒業後、日本銀行調査統計局を経て都市計画・建築の分野に参画。中国・北京の都市計画事務所で副社長を務めたのち、2013年から青梅市中心市街地活性化協議会タウンマネージャーに就任。商工会議所や市、地元商業者らでつくる協議会で企画立案や事業展開のサポート役を務める。タウンマネージャー（東京都青梅市、あきる野市五日市、豊島区池袋他）都市研究室 hclab.主宰。芝工大・東京理大・早稲田大建築学科非常勤講師（設計製図・プロジェクトマネジメント）（FB 等参照）



■講師プロフィール 上田 嘉通氏

埼玉県生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科修了後、株式会社日建設シビル入社。海外での都市開発、リゾート開発のプランニングに従事。その後、農山漁村、過疎地域の振興に関する調査・研究・コンサルティング、東日本大震災の被災地復興事業のマネジメントや、全国の過疎地域・離島地域に特化したコンサルティングに従事。これまでに仕事で訪問した離島は90を超える。全国のコンサルティングをしながら、地元である埼玉県寄居町にUターン。祖父母が営んでいた小さな商店の屋号を継ぎ「株式会社小田屋」を設立。一般社団法人 Work Design Lab リージョナルパートナー、株式会社 JTB 総合研究所客員研究員、寄居町 100 人カイギ 発起人&運営者など兼務。（HP 等参照）